

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 桜の園

目標達成計画

作成日: 平成26年2月10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	災害時対策において、施設外へ出る際の避難経路に3ヶ所の非常口は段差となっており、スロープの設置もない。避難の際1人でも多くの生命を守るためスムーズに対応できるようにするには、段差の解消、スロープの設置などを行う必要がある。また、園外へ避難しても車いすを介助できる環境にもなっていないため、避難道を整備する必要もある。	経費との調整もあるが、入居者様の生命を守ることを最重要として出来る部分から環境整備を行っていく。	①非常口3か所の段差解消。スロープ・手すりの設置 ②園外の避難道の整備(セメントにて整備し、車いす介助スペースを作る)	12ヶ月
2	10	ご家族の意見を表せる場作りにおいて、職員を入れない話し合いをもつ必要はあるが、施設から家族へ協力のお願いをしているものの、家族会の立ち上げには仲介人としての役割を持ってくれる人がいない。	ご家族との交流会を持ちながら、家族会立ち上げをお願いする。ご家族だけをお願いするのではなく、仲介人としての役割を持ってくれる人も考える。	①家族交流会(入居者様との昼食会、ドライブ)などを行う ②仲介人としての役割を持ち、意見を聞いてもらえる人を考えてみる	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。